



令和2年6月8日 第1974回例会

1977年1月10日創立

2019~2020年度 国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

●会 長 坂元 直人 ●副会長 加島 繁 ●幹 事 川路 理幸 ●編 集 広報・雑誌・IT委員会 (公共イメージ)

四つのテスト 言行はこれに照らしてから ① 真実かどうか ② みんなに公平か ③ 好意と友情を深めるか ④ みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 会員卓話 = 「民法改正について」

6月 ロータリー親睦活動月間

前回例会出席率 **64.81%**

会長の時間

坂元 直人

みなさん、こんにちは。いよいよ6月に入りました。3月16日以降、クラブの活動が停止した状態が続き、何か拍子抜けで本年度が終わってしまいそうな気がしております。



数えてみましたが、今日の会長の時間が29回目となっております。29回目の原稿を今日の例会前に作り終えたこととなります。

29回というそれなりの数になり、振り返ってみますと良くこれだけネタがあったなというのが正直な感想になります。

会長の時間の原稿を作るうえにおきましては、一番「ネタ」が大事であり、「ネタ」が決まりますと私はあまり苦労しないタイプに分類をされます。

文章を書くのが仕事ですし、お受けした事件でストーリーを組み立てるのも仕事であり、「ネタ」が決まりますと、概ね30分以内で会長の時間の原稿は仕上げてきております。

あと5回の例会を終えますと、会長職も無事に終わり、いよいよ加島・高岡年度がスタートをすることになります。

昨年今頃はどうかと不安に思っていたことを懐かしく思い出しますが、始まることと言いつつ過ぎ去ってしまいますので、加島会長と高岡幹事には次年度を是非楽しんで欲しいと思っております。

次年度も新型コロナウイルスの感染拡大との闘いの年度になりそうであり、感染拡大の第2波がやって来た場合、例会の中止や延期もやむを得ない局面も訪れそうな年度になるように思います。

3月に我がクラブの海江田会員とお話しさせて頂きました際、今回の新型コロナウイルスの感染拡大のような事態は海江田会員のこれまでの生涯においても一度もなかったご経験のようにです。

海江田会員からは「これほど世の中の仕組みやシステムが脆弱なものだとは思ってもみなかった」という感想をお聞きしましたが、新型コロナウイルスに関しては、私も同様の意見をもっております。

未知のウイルスが発生しただけで世界がこれだけの大混乱に陥るとは思ってもおりませんでしたし、新型コロナウイルスの感染拡大にもなって偏見、差別、デマ等の人間の汚い部分がこれほど表面化されるとは思いませんでした。

新型コロナウイルスについては、今後、自分自身としてどのように向き合えば良いのかを見極めようと、新聞や雑誌などで

色々な情報を集めましたところ、文藝春秋5月号に寄稿された佐伯啓思京都大学名誉教授の論文がとてもしっかりきましたので、エッセンスを少しご紹介させていただきます。以下、概略を引用させていただきます。

今回の新型コロナウイルスは、「グローバル経済がいかに脆いか」を白日の下に晒した。

これまでグローバリズムを推し進め、妄信してきたことのしっぺ返しのようなものである。

グローバル企業が手っ取り早く利益を貪るために「中国に過度に依存する(中国を世界の工場として濫用する)」いびつな経済構造は間違っていた。

「中国をどう理解し、中国とどう距離を取るか」は、日本を含め世界にとってこれから非常に大きな問題になってくる。

「メディア」と「情報化」と「民主主義」が結びついて、不安をむしろ増幅をさせて、今日のような大騒動になっているのが事の真相である。

新型コロナウイルスは長い目で見れば、いずれ季節性インフルエンザのようになると構えておけば足り、各人が自分なりに自衛し、人に感染させないように配慮すれば足り、パニックに陥る必要はない。

人間社会は、「市場」だけで成り立っているのではない。「地域社会」「文化や伝統」「人間同士の信頼関係」の上に「市場」は存在している。

冷戦後の「グローバリズム」は、全てを「市場」に任せ、「効率的ではないもの」「貨幣の価値で測れないもの」、つまりは「無駄なもの」「余裕のあるもの」を排除し、結局は社会の「強靱性」を弱体化させた。

個人的には、グローバリズムを前提とした極度の市場主義は誤っており、今後の社会は人間同士の信頼関係など、効率性や貨幣価値で測れないものに軸足を置く必要があるであろうというふうな最終的な理解を致しました。

この論文には、今回の新型コロナウイルスは、鳥取県、鹿児島県といった地方ほど感染者が少ないという指摘がなされておりました。

観光客が少ない地方の方が、今回の脅威に対して「強靱性」を持っていたという指摘がなされており、興味深く読ませて頂いた次第です。

奉仕の理想を掲げるロータリーは、効率性や貨幣価値とは対極にあると評価をして差し支えないところであり、コロナ後の世界において、ロータリーが更に輝きを増していければと思っております。

以上で会長の時間を終わります。

会員卓話 = 「コロナに思う」

■ 志賀 啓一

まず今回の新型コロナウイルス対応における学校の実態ですが、今でも苦労されている業種の皆様には大変恐縮なのですが、おかげさまで本学園はやや遅れはあるものの、概ね日常的な学校運営に戻ることができつつあります。それでも、夏休みを2週間後ろ倒しにするなど、学習課程の確保には追われております。



ニュースになった他校の事例などから感じたこととして、事件が起こったところに電話や問い合わせは控えたほうが良いこと、コロナ対応よりもむしろ、当事者を含めた事業所全体の心のケアが必要であること、当事者自身からの情報は必ずしもあてにならず、主観に基づくものと割り切って判断すべきであることの3つがあります。

併せて9月入学について話してほしいということですので、私見になりますが、申し上げます。結論から言うと、きっかけとしてはありがたいが、まったく話にもならないまま見送りになってしまいました。私は、いずれグローバル社会に対応するので

あれば、9月入学はすべきと思っておりますが、今回のように半年遅くするのではなく、日本ならば半年早くすべきだと考えています。そうでなければ飛び級制度を導入しなくてはならないと思っています。それが報道等を見るにつけ、そんな話題が一切出てこないのが残念でなりません。9月入学の議論はコロナ対応と別次元の話であり、今後進めるのであれば、子どもたちにとってよりよい教育課程とは何かを議論してほしいと思いました。

■丸山 健太郎

最近「あなたの無責任な行動が、医療崩壊を招き、誰かの命を奪うかもしれない。ステイホーム」ということを耳にする。そのこと自体はとても正しいことだが、正しければ、正しいほど、大きな声であってはいけないのではないか。



正しいことを大きな声で言い募ると、そうではない振る舞いをする人を非難したくなる、パッシングしたくなる。

休業要請が出ているのに営業しているパチンコ店に対して抗議や脅迫が殺到したり、県外ナンバーの車に対して傷を付けたりと、不本意にも感染した人に対して差別や中傷。あるいは匿名発表なのにわざわざ実名と仕事、家族構成まで調べあげてネットに上げる輩まで現れる。いわゆる自粛警察。

「あなたの無責任な行動が、医療崩壊を招き、誰かの命を奪うかもしれない」ことは大事なことで、皆で自制する必要があるけど、同調圧力が強すぎて、そこからはみ出すことを許さない社会は、もっと怖い社会になっていくかもしれないというこ

とに、私たちは自覚的でありたい。

■小笹 貴之

本日は、今後の参考のために、全国展開している私ども明治安田生命の新型コロナへの対応について、簡単に振り返らせていただきます。



今回の新型コロナウイルス対応において、わが社でも全社横断的な対応体制ができたのは、4月7日の「特別対策本部」の設置以降となります。そのなかで、「地域のリスクレベルに応じた柔軟な対応」「お客さまと従業員の安全確保と保険金支払い等の生命保険会社としての重要業務の最優先」「対応期間中の従業員の給与等の保障」といった3つの基本方針が示され、職員用のマスクも十分に配布されるなかで、ようやく前向きな気持ちでお客さま対応にあたることができるようになりました。

鹿児島でも、4月20日から約1ヶ月間、一番高いリスクレベルでの対応にシフトし、会社支給のスマホ端末を使って、在宅を中心に電話やLINEなどで非対面によるアフターフォロー活動を実施することとなりました。5月26日からは一番低いリスクレベルでの運営に戻り、職員も原則出勤。感染予防対策を前提として通常の営業活動も再開しています。一方で、この1年は経営計画を見直し、アフターフォローの徹底によりお客さまの保障をしっかりと守る運営に変更することが決まり、現在、業務運営のやり方を切り替えつつあるところです。

この3ヶ月は目まぐるしく情勢も変わりましたが、大多数は状況を理解してくれ、その時々でできることに精一杯取り組んでくれたものと感じています。

スマイル・ボックス

●坂元 直人君/いよいよ本年度、最終月に突入り、坂元・川路年度も終わりが近くなって来ました。加島・高岡年度に良いバトンタッチが出来ますよう最後まで努力したいと思っております。皆さん、ご協力下さい。

●川路 理幸君/先週連続出席表彰、今週誕生日祝をいただきました。誕生日祝はさらっとながしたいと思っております。ありがとうございました。

●丸元 貞夫君/先週末、弊社第73期決算(3月末)が、無事終了しました。前期比かなりの(15%)減収、若干の(3%)減益でした。こんな時期で、何とかこの数字でホッと一息です。

●池脇 剛君/誕生日祝いを有難うございました。68才になります。

●吉田 健朗君/昨日「犬猫と共生できる社会をめざす会」の総会があり、中央RCの担当として出席してまいりました。財政的に厳しい中、理事の方々の熱意で成り立っているんだなあとあらためて感じました。決算報告書を掲示板に貼っておりますので、ご興味のある方はご覧になって下さい。

●加島 繁君/先週結婚祝いをいただきありがとうございます。41年になりました。夫婦の会話全国平均時間は一週間の総計では1時間未満13%、3時間から5時間23.5%、11時間以上9%となっております。子供がいないせい、朝から会話も多く11時間以上の9%に入っていますが、この頃は妻からのダメ出しが多いのではないのでしょうか!

●高柳 大輔君/誕生日お祝いありがとうございます。55歳になります。祝ってくれるのはロータリーだけなので一生懸命頑張ります!

6月1日のスマイル 小計 22,000円 2019~2020年度 累計 701,223円

ロータリーソング:「奉仕の理想」

職業宣言唱和: 1・2

ゲスト紹介: 坂元・黒沢法律事務所 司法修習生 齋藤 和夏子(さいとう わかこ) 様

食事:「本日の演奏」

会長の時間: 会長 坂元 直人君

誕生日お祝い: 園田 剛介君(2日)、吉村 隆博君(8日)、高柳 大輔君(16日)、川路 理幸君(23日)、平山 勢津子君(24日)、池脇 剛君(30日)

会務報告: 幹事 川路 理幸君

- 1) 本日の配布 ①月信(6月号) ②週報 ③新入会員候補者用紙 ④2020-2021年度組織図 ⑤地区大会記録誌(地区大会参加者のみ)

- 2) 配布しております新入会員候補者・伊藤 一雄(いとう かずお) ⇒共栄火災海上保険株式会社 南九州支店 支店長 入会について異議のある方は、本日から7日間の内に幹事までお申し出ください。お申し出のない場合は異議のないものと認め、入会の手続きに入りますので、ご了承ください。

- 3) 会員名簿校正用紙の提出がまだの方は、お帰りの際事務局

第1973回例会記録 6月1日(月)

へお渡しください。

- 4) 市内RC新旧合同会長幹事会開催 6/8(火) 18:30~ 於:東急REI 参加者=坂元・川路・加島・高岡 各会員
- 5) RCC例会 11:00~ 天文館松山通り リンクビル9階 6/14(日) 指名出席者⇒平山・里・小福田 各会員 6/28(日) 指名出席者⇒坂元(直)・川路 各会員
- 6) 次週例会プログラム 6/8(月) ・会員卓話=中間 貴志君「民法改正について」 ・広報雑誌・IT委員会 =友のみどころ

出席報告: 出席委員会

スマイルボックス: 親睦委員会

委員会報告: 次年度高校生交流について 本坊会員

卓話: 会員卓話 = 「コロナに思う」

志賀 啓一君・丸山健太郎君・小笹 貴之君

次回例会 令和2年6月15日(月)

次年度委員会別打ち合わせ

出席率	会員数	出席数	出席報告
第1973回例会	56名	35名	64.81%
前々回(3月16日)の補正	57名	34名	60.71%